

品目別レポート（ビール）

■品目説明

ビールの定義(酒税法第3条第12号)は、①麦芽、ホップ及び水を原料として発酵させたもの、②麦芽、ホップ、水及び麦その他の政令で定める物品を原料として発酵させたもの(ただし、当該政令で定める物品の合計が麦芽の重量の2分の1を超えないものに限る)で、アルコール分が20%未満のものである。

発泡酒の定義(酒税法第3条第18号)は、麦芽又は麦を原料の一部とした酒類で発泡性を有するもの(他の酒類、麦芽又は麦を原料としたアルコール含有物を蒸留したものを原料としたものを除く。アルコール分が20度未満のものに限る)である。

06年に登場したビールテイスト飲料は、原材料により酒税適用上「その他の醸造酒」または「リキュール」に該当する。なお、ビールテイスト飲料のうち、アルコール分が1%未満のものは、法律上清涼飲料水に分類される。

かつて、国産ビールは加熱処理をしたビールが主であったが、近年では、ほとんどが加熱処理をしない生ビールとなり、アルコール度数がやや高めのドライビール、一番麦汁のみで醸造した一番絞りビールなど、さまざまな種類のビールが生産、消費されている。最近ではCVSや大手小売業などと共同開発したビールの売れ行きも伸びているほか、ビール各社は糖質ゼロ、プリン体ゼロの「ゼロ・ゼロ」ビールや高品質なクラフトビールなどを相次いで開発し、生き残りを図っている。

■貿易概況

20年のビールの輸出額は前年比35.5%減の5,413万ドル、輸出量は同46.2%減の4万8,266キロリットルとなった。主要輸出相手先は台湾向けで、金額ベースで同26.3%増の1,604万ドル、数量ベースで同17.3%増の1万6,583キロリットルとなった。このほか、2位が中国(金額前年比113.27%増、数量同107.1%増)、3位がオーストラリア(同5.8%減、同2.4%減)となった。

▼表1：日本のビール輸出

(単位：ドル、キロリットル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
台湾	12,157,298	12,707	12,706,679	14,137	16,046,989	16,583	26.3	17.3
中国	3,018,510	2,151	4,168,493	2,904	8,885,819	6,012	113.2	107.1
オーストラリア	7,086,303	6,019	6,768,175	7,169	6,376,757	6,999	△ 5.8	△ 2.4
韓国	71,210,783	79,890	36,499,878	48,892	4,758,649	6,162	△ 87.0	△ 87.4
香港	3,106,810	1,620	3,841,053	1,871	4,350,739	2,229	13.3	19.1
全世界	116,438,284	116,772	83,871,131	89,705	54,137,997	48,266	△ 35.5	△ 46.2

注：対象はHSコード 2203

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

■海外事情

●台湾

台湾は02年1月のWTO加盟と同時に、酒類の専売制が廃止され、酒類の輸入を民間の輸入業者に開放するとともに、製造についても民間に開放した。その結果、酒類の販売量は拡大している。03年の53万4900キロリットルから19年には61万7,600キロリットルまで伸びており、ビール類が19年には全体量の86.2%を占めている（ユーロモニター・インターナショナル調べ）。

台湾のビール市場の主役は台湾産ビールで、台湾菸酒公司(旧公売)の台湾ビールが圧倒的なシェアを持っている。ちなみに、台湾産の酒類はビールを除けば、料理用に大量に消費する低価格の米酒(米の蒸留酒)や料理酒(米酒に塩を加えたもの)が中心である。

輸入ビールは05年に関税が0%になってから、さまざまな外国産ビールが輸入されるようになり、20年には21万2,759キロリットルが輸入され、05年の9万6,989キロリットルから大きく数量を増やしている。

20年の輸入ビールの金額ベースの上位は、オランダ(シェア40.3%)、中国(同30.0%)、日本(同8.5%)で、ブランド別ではハイネケン(オランダ)、青島ビール(中国)、バドワイザー(米国)および日本産では麒麟、アサヒ、サントリー、サッポロが代表的なブランドである。一般的に、普及品は台湾産の台湾ビール(台湾啤酒)、プレミアムビールは日米欧の輸入品という位置付けで、販売ルートは輸入代理店経由でコンビニ、スーパーマーケットおよびカラオケ店を含む外食レストランなどが主である。

20年の日本からの輸入額は前年比34.3%増の1,764万ドル、輸入量は同26.1%増の1万8,075キロリットルであった。台湾でもクラフトビールの人気は高まっており、特に30代前後の若い世代から支持を得ている。台湾で人気の高い麒麟ビールは、自社のクラフトビール「グランド麒麟」シリーズを台湾で発売した。

▼表2：台湾のビール輸入

(単位：ドル、キロリットル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
オランダ	92,238,794	75,937	90,095,901	78,038	82,712,833	67,947	△ 8.2	△ 12.9
中国	45,756,976	68,429	53,430,334	79,143	61,606,638	90,086	15.3	13.8
日本	13,001,901	13,273	13,140,637	14,329	17,642,382	18,075	34.3	26.1
シンガポール	85,948	93	34,210	36	9,588,557	6,120	27928.5	16830.0
英国	3,461,804	2,336	6,948,945	5,271	8,161,825	5,738	17.5	8.9
全世界	186,931,482	193,527	197,377,938	211,426	205,183,640	212,759	4.0	0.6

注：対象はHSコード 2203

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

●中国

20年のビール輸入額は前年比15.2%減の6億9,540万ドル、輸入量は同20.2%減の58万4,433キロリットルと減少した。20年の輸入先は1位がドイツとなり、輸入額が1億4,199万ドル(前年比11.2%減)、輸入量が18万3,155キロリットル(同12.5%減)となった。日本は13位で輸入額は1,055万ドル(同103.2%増)、輸入量は6,362キロリットル(同103.5%増)であった。

▼表3：中国のビール輸入

(単位：ドル、キロリットル、%)

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ドイツ	190,700,550	239,980	159,865,415	209,258	141,998,680	183,155	△ 11.2	△ 12.5
ベルギー	74,201,934	39,416	105,794,188	52,376	115,780,042	56,718	9.4	8.3
メキシコ	251,414,453	195,581	159,956,380	109,326	77,978,118	47,175	△ 51.3	△ 56.8
フランス	42,920,079	20,360	57,803,666	27,276	66,131,878	29,422	14.4	7.9
オランダ	46,410,889	33,075	37,601,827	27,270	55,192,819	42,676	46.8	56.5
日本 (13位)	3,439,006	2,225	5,196,205	3,126	10,559,554	6,362	103.2	103.5
全世界	904,371,501	821,137	820,006,429	732,106	695,407,559	584,433	△ 15.2	△ 20.2

注：対象はHSコード 2203

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。